

「うんちのおはなし」編

タイトル：うんちのおはなし

推奨学年：低学年

対象教科：生活科、国語科、総合学習、理科など

教材観・児童観・指導観

本事業は千葉市内の小学校から毎年度約 50 校・3000 名が参加している。過去のアンケートから、市内小学校に在籍する児童は「動物の糞への興味」があり、「普段とは異なる授業により、特別感を味わい、刺激を受けている」ことが分かっている。飼育員や獣医師によるオンライン授業を実施したことで、児童が校外学習や各家庭で動物園を訪れた際に新たな視点を獲得し、より充実した時間が過ごせたなどの感想が得られたことから、本事業は動物への興味関心を高める効果があると考えられる。

授業目的

身近な動物の”うんちと食性の結びつき”を知り、関連事象に興味を持つ。

〔 校外学習の事前学習として→動物を観察する際の視点を増やす。
校外学習の事後学習として→体験と結びつく知識を共有し定着を促す。 〕

授業概要

動物のうんちを題材に、動物の食性と消化についてクイズを交えながら学びます。身近なテーマとクイズで毎回大盛り上がり！人気のプログラムです。

指導計画

	授業の流れ	児童の反応
導入 (5分)	・講師自己紹介、動物公園の紹介 ・うんちについて触れる「毎日してるよね？」	「うんちだって～」 ・笑いと言わたり
展開1 クイズ (15分)	大型草食獣（ゾウ）の*うんち、えさ、うんちの中身（未消化物）を紹介 →それを踏まえて「うんちクイズ」出題。 *の項目で動物種を予想する →答え合わせとその動物種についての解説 →食性を変えながら「うんちクイズ」を繰り返す（草食、肉食、雑食）	「こんなうんちするんだ」 「草が混ざっているね」 「なんのうんちだ？」 「私は〇〇だと思う！」 ・クイズに参加しながら、 口々に意見を言い合う

展開2 ビデオ (10分)	展開1で紹介されたうんちを解剖（切る、崩す、濾すなど）する様子を映像で見る。大きさやうんちの質感、未消化物の残留加減を確認	「くさそう、どんなにおいなんだろう」「ゾウはほとんど草なんだね」
まとめ (5分)	食物とうんちの関係、飼育員がうんちを観察する理由や来園時の観察ポイントを紹介	「他の動物のうんちはどんなのだろう？」
質疑応答 (10分)	・ZOOMの挙手機能を使って講師と各学級で会話し、授業中に出た疑問の解消 ・動物園や仕事内容についての質問にも対応	「〇〇のうんちはどんなうんちですか？」

評価の観点

- ① うんちと食べ物に直接的なつながりがあることを知る（知識技能）
- ② クイズに参加し、自らの考えを表現する（学びに向かう力・人間性）
- ③ 食性や未消化物から、動物種を予想する（思考・判断・表現）

板書計画

